

エコアクション21

環境活動レポート2014

(対象期間2014年4月～2015年3月)

2015年9月30日作成



伸光写真サービス株式会社

認証・登録番号0000538

目 次

1.	会社概要	2
2.	対象範囲（認証・登録範囲）	3
3.	環境方針	4
4.	環境目標（中長期目標）	5
5.	環境活動計画（2014年度）	6
6.	環境目標の実績値・取組結果とその評価（2014年度）	8
7.	環境活動計画（次年度の取組内容）	10
8.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11
9.	代表者による全体評価と見直し	11



当社は電子業界の最先端技術を積極的に取入れ、人類。社会の進歩発展に貢献し全従業員の幸福を追求します。

当社は様々な分野のプリント配線板の試作品を製作しています。

私たちの製作しているプリント配線板は世界の人々を結びつけ、宇宙開発にも貢献しています。

環境活動とともに世界の人々に幸せを、未来に希望を与えたい……。

人間活動と環境との持続可能な関係を修復・再生できますように！

1. 会社概要

所在地 〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4363番地18

設 立 昭和 52 年 7 月 1 日

代表者 代表取締役 今井 俊夫

資本金 払込済 資本金 3,450万円

環境管理責任者 中島 光洋

連絡先 〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4363番地18

TEL : 045(933)8311

FAX : 045(933)8318

事業内容 プリント配線板の製造・メタルエッチング及び
工業用精密マスク製造

事業の規模 主要製品の生産量 / 出荷額 2.2t / 368百万円

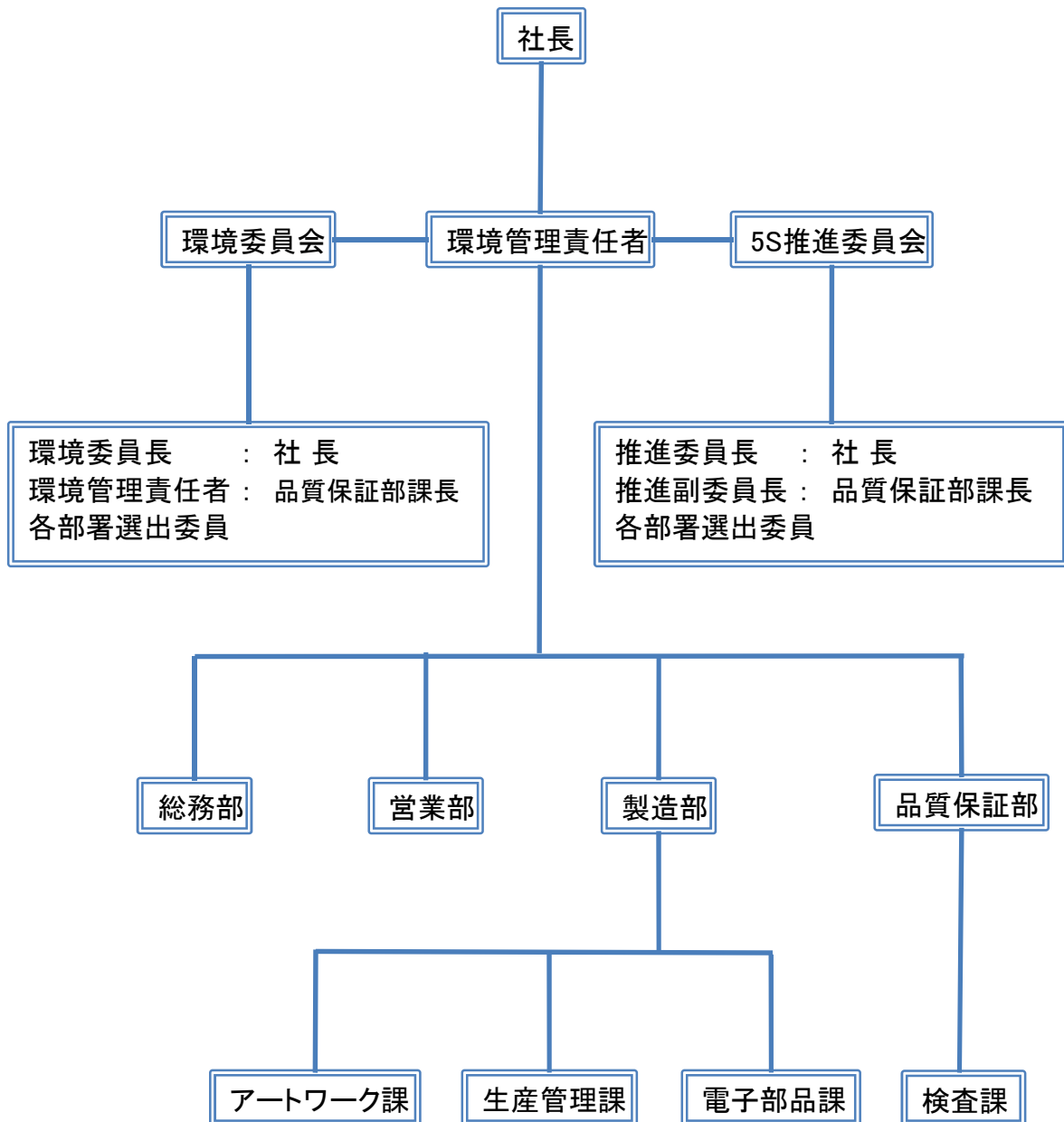
従業員総数 30名

床 面 積 640m²

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

全社(本社)

※環境管理組織を含みます



3. 環境方針

伸光写真サービス株式会社は住宅地域に密着した企業として、身近な周辺環境保全と資源の節減・回収・リサイクル問題に積極的に取り組み、環境に配慮した事業活動を推進し“かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐ”事を目指し次の環境活動を展開します。

- ① 事業活動より発生する各種廃棄物、化学物質の管理を徹底し法令を遵守すると共に、化学物質及び各種廃棄物の削減・回収・リサイクルに努めます。
- ② 水質汚染・大気汚染の予防及び騒音問題についても法令を遵守すると共に、地域周辺への配慮を優先した事業活動を行います。
- ③ 消費電力・ガソリン・コピー用紙・上水道等の使用量削減を中心とした省エネルギー・省資源活動を行い、CO2の削減に努めるとともにグリーン調達を推進します。
- ④ 生産効率及び製品の品質を向上させ環境に配慮した生産活動を行い、環境負荷の低減に貢献します。
- ⑤ 周辺住民との積極的な対話を持ち、環境保全についての地域行事に進んで参加します。

以上のことを実施するため、環境に関する目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進する。
この環境方針は、全社員に周知させると共に、外部の利害関係者が入手可能にする。

制定日2005年06月20日
改定日2011年09月16日
伸光写真サービス株式会社
代表取締役 今井俊夫

4. 環境目標(中長期目標)

環境目的	環境目標	2012年度 目標と実績 基準	2013年度 目標と実績	2014年度 目標と実績	2015年度 目標
省エネルギー (二酸化炭素 排出量の削減)	電力使用量 (Kw)	150,516 実績144,992 (-4%)	143,542 (2012年比 -1%) 実績131,223 (-9.4%)	142,106 (2012年比 -2%) 実績133,989 (-7.5%)	140,671 (2012年比 -3%)
	ガソリン使用量 (L)	3,816 (監視データ) 実績 3,924(+3%)	3,384 (監視データ) 実績3,328 (-2%)	3,240 (監視データ) 実績3,041 (-6%)	3,240 (監視データ)
	二酸化炭素排出量 (Kg)	77,025 実績77,025 (-2.3%)	74,714 (2012年比 -3%) 実績69,134 (-10.2%)	73,173 (2012年比 -5%) 実績69,776 (-9.4%)	71,633 (2012年比 -7%)
資源のリサイクル(3Rの推進、廃棄物等の削減)	一般廃棄物 (Kg)	576 実績516 (-10%)	516 (監視データ) 実績445 (-13.8%)	516 (監視データ) 実績348 (-32.6%)	516 (監視データ)
	産業廃棄物 (Kg)	33,600 実績32,916 (-2%)	32,586 (2012年比 -1%) 実績31,795 (-3.4%)	32,260 (2012年比 -2%) 実績24,353 (-26.0%)	31,934 (2012年比 -3%)
省資源の推進	上水道使用量 (m ³)	1,320 実績1,371 (+4%)	1,356 (2012年比 -1%) 実績1,485 (+8.3%)	1,343 (2012年比 -2%) 実績1,320 (-3.7%)	1,330 (2012年比 -3%)
	コピー用紙使用量 (枚)	69,672 (監視データ) 実績59,500 (-15%)	59,500 (監視データ) 実績52,000 (-12.6%)	59,500 (監視データ) 実績56,000 (-5.9%)	59,500 (監視データ)
環境汚染の防止	グリーン購入の推進 (数)	2品目購入 実績(達成)	4品目購入 実績(達成)	6品目購入 実績(達成)	8品目購入
	化学物質の使用量・ 排出量の削減 (%)	目標仮設定 現状把握: 廃 酸0.11kg、廃 アルカリ 0.12kg使用	廃酸・廃アル カリを2012年 比 -1% 実績(-0.7%)	廃酸・廃アル カリを2012年 比-2% 実績(-2.6%)	廃酸・廃アル カリを2012年 比-2%
生産活動での環境負荷の低減	不良損失金額低減 (%) ※1.57%/2011年	* 2011年比 -10% 実績(-10%)	2011年比 -15% 実績(+64%)	2011年比 -20% 実績(+21.7%)	2011年比 -20%
地域社会との協調・連携	環境ボランティア活動の実施(回)	年1回実施 実績(達成)	年1回実施 実績(達成)	年1回実施	年1回実施

※2012年度を基準として三カ年計画(ただし*は2011年比)

5. 環境活動計画(2014年度)

環境目標	取組内容
電力使用量の削減 (Kw)	電力監視システムのデータにより電力のピークデマンドを抑える (省エネ法改正事項…努力義務) 電力監視システムのデータからポイント押さえて取り組む
ガソリン使用量の削減(L)	毎月のガソリン使用量の把握 エコドライブ等継続実施 ・発進時、急加速しないようにする。 ・月に1回タイヤの空気圧をチェックし記録する 引き続き監視データとする
二酸化炭素排出量の削減(Kg)	大きな影響を及ぼす、電気とガソリンに注力して削減する
一般廃棄物の削減 (Kg)	外注業者から入る合紙やビニールで不要なものは断る・返却する ごみの分別を再認識する(分別表作成) 古紙はリサイクル業者に移管する ビニール袋の分別、再利用 監視データへ移行
産業廃棄物の削減 (Kg)	フィルム描画率アップによる定着液、フィルムの削減、 金属類の分別回収リサイクル
上水道使用量の削減(m ³)	引き続き以下の項目を実施 生産時に使用する水道水の量を個別の水道メータで管理 使用量の把握をニカ月毎から一か月毎に変更し監視を強化する
コピー用紙使用量の削減(枚)	マルチファンクションプリンタの導入によるスキャナーの有効活用 (社内データのソフト化の推進) イントラネットの有効利用を促進 裏紙の再利用、両面・縮小コピーの継続実施 引き続き監視データとする
グリーン購入の推進	環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入
化学物質排出量の削減 (%)	描画フィルム利用率を低減し、廃酸・廃アルカリの排出量を定量的に把握し削減する
不良損失金額の低減 (%)	5Sの目的に「不良損失金額低減」を明確に定め実施する ヒューマンエラー対策、不具合様式の分析 ISO9001等、品質教育を実施する
環境ボランティア活動の実施(回)	環境ボランティア活動(鶴見川清掃)の継続実施 地域行事に協賛企業として参加

2014年10月 鶴見川清掃のときの写真です



6. 環境目標の実績値・取組結果とその評価(2014年度)

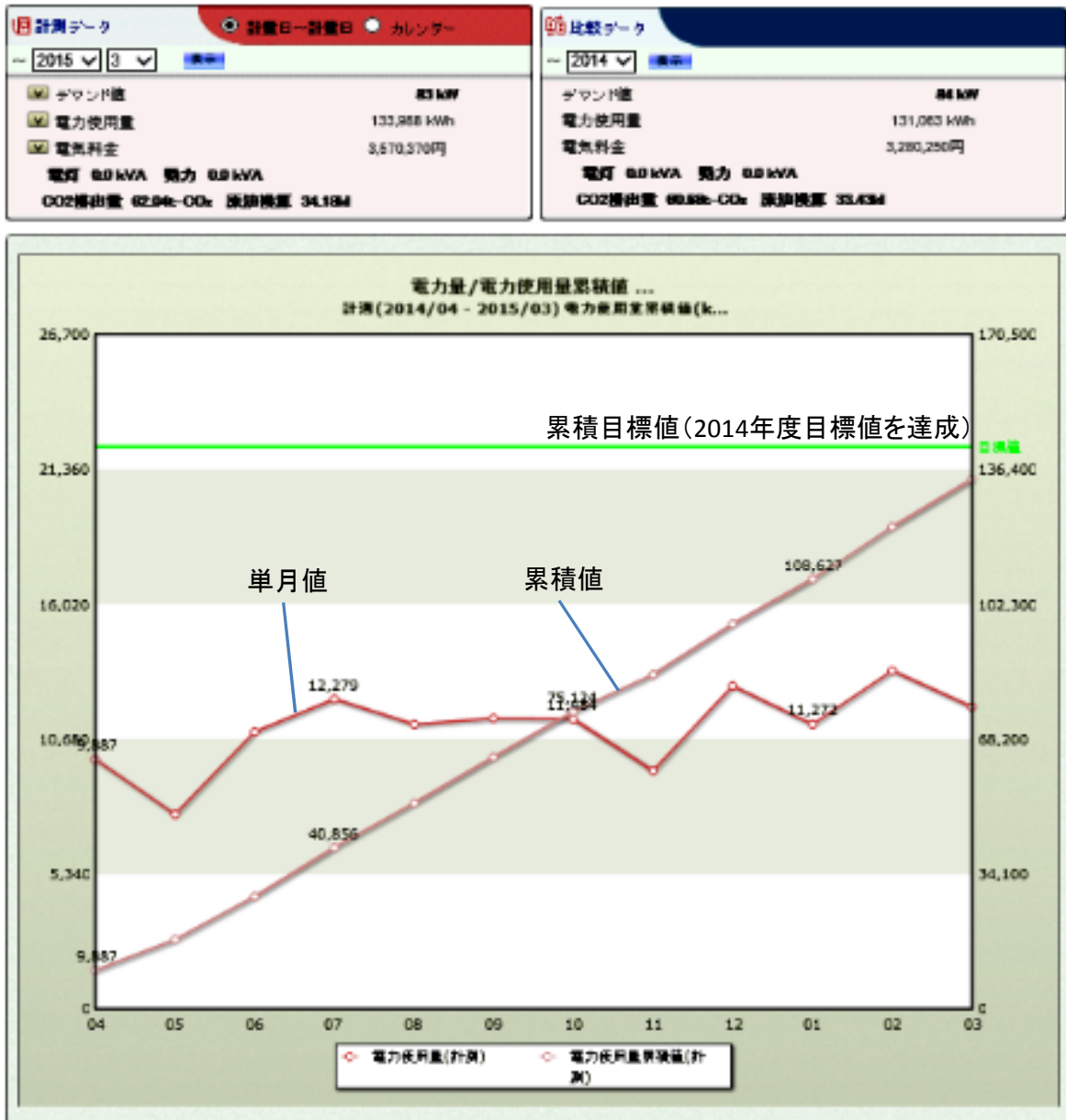
購入電力の排出係数： 0.463 (kg-CO2/kwh)

環境目的	環境目標	2014年度 目標	2014年度 実績値	取組結果	評価
省エネルギー (二酸化炭素 排出量の削減)	電力使用量の削減 (Kw)	142,106	133,989	-5.7%	○
	ガソリン使用量の 削減 (L)	3,240 (監視データ)	3041 (監視データ)	-6%	○
	二酸化炭素排出量 の削減 (Kg)	73,173	71,420	-9.4%	○
資源のリサイ クル(3Rの 推進、廃棄 物等の削減)	一般廃棄物の削減 (Kg)	516	348	-32.6%	○
	産業廃棄物の削減 (Kg)	32,260	24,353	-24.5%	○
省資源の 推進	上水道使用量の削 減 (m ³)	1,343	1,320	-1.8%	○
	コピー用紙使用量 の削減 (枚)	59,500 (監視データ)	56,000	-5.9%	○
環境汚染の 防止	グリーン購入の推 進	6品目購入	6品目購入	目標数を 購入済み	○
	化学物質 排出量の削減 (%)	廃酸・廃アルカリを 2012年 比-2% ---換算データ--- 描画フィルム 利用率78% (2012年比-2%)	実績(-2.6%) ---換算データ--- 描画フィルム 利用率75.4% (2012年比-2.6%)	-2.6%	△注1
生産活動で の環境負荷 の低減	不良損失金額低減 (%) ※1.57%/2011年	2011年比-20% (1.27%)	2011年比+21.7% (1.91%)	+21.7%	×注2
地域社会と の協調・連	環境ボランティア 活動の実施(回)	年1回実施	年1回実施	実施	○

注1) 描画フィルム利用率で換算しています。ほぼ管理限界に近づきつつあります。

注2) 技術的に難しい基板製造への挑戦が増えたため未達となりました。

下の図は、日本テクノ株式会社様と契約している電力監視システムのグラフです。



7. 環境活動計画(次年度の取組内容)

環境目標	次年度の取組内容
電力使用量の削減 (Kw)	電力監視システムのデータにより電力のピークデマンドを抑える (省エネ法改正事項…努力義務) 電力監視システムのデータからポイント押さえて取り組む
ガソリン使用量の削減(L)	毎月のガソリン使用量の把握 エコドライブ等継続実施 ・発進時、急加速しないようにする。 ・月に1回タイヤの空気圧をチェックし記録する 引き続き監視データとする
二酸化炭素排出量の削減(Kg)	大きな影響を及ぼす、電気とガソリンに注力して削減する
一般廃棄物の削減 (Kg)	外注業者から入る合紙やビニールで不要なものは断る・返却する ごみの分別を再認識する(分別表作成) 古紙はリサイクル業者に移管する ビニール袋の分別、再利用 監視データへ移行
産業廃棄物の削減 (Kg)	フィルム描画率アップによる定着液、フィルムの削減、 金属類の分別回収リサイクル
上水道使用量の削減(m ³)	引き続き以下の項目を実施 生産時に使用する水道水の量を個別の水道メータで管理 使用量の把握を一ヶ月毎に監視
コピー用紙使用量の削減(枚)	マルチファンクションプリンタの導入によるスキャナーの有効活用 (社内データのソフト化の推進) イントラネットの有効利用を促進 裏紙の再利用、両面・縮小コピーの継続実施 引き続き監視データとする
グリーン購入の推進	設備に注力し、環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入
化学物質排出量の削減 (%)	描画フィルム利用率を低減し、廃酸・廃アルカリの排出量を定量的に把握し削減する
不良損失金額の低減 (%)	引き続きヒューマンエラー対策を実施していく ・ISO9001: 2015 を適用し仕事のやり方の品質を向上させる ・外部供給者評価基準を明確にし評価するとともにポカミスの少ない業者を選定
環境ボランティア活動の実施(回)	環境ボランティア活動(鶴見川清掃)の継続実施 地域行事に協賛企業として参加

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認、違反等の有無

環境関連法規への遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

主な適用法規制	内 容	遵守状況
下水道法	公共下水道排水の定期分析異常なし(横浜市の監査あり)	○
騒音規制法	地域住民からの苦情なし	○
土壌汚染対策法 水質汚濁防止法	特定有害物質有り(対策の実施、申請済み)	○
悪臭防止法	対象物質なし	○
廃棄物処理法	指定回収業者定期点検 マニフェストの管理	○
横浜市及び 神奈川県 条例	A除外施設問題なし。資格者保有	○
製品含有化学物質 管理	RoHS/改RoHS2/J-Moss、REACH (含高懸念物質)、 コンゴ民主共和国等産出の紛争鉱物	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

本年度も多品種少量生産とともに技術的に難しい基板製造への挑戦も増えたため、電気、水道、化学物質の使用量の変動が益々大きく、CO2の継続的削減は非常に難しいところがありました。しかしながら、ほぼ下限値を推移していると考えられます。

- ・電気においては、既導入の電力監視システムのデータを基に、ピークデマンド制限に効果が出ました。(省エネ法改正事項…努力義務)
- ・水道においては、工場内に特別に設置した3個の水道メータにより個別管理も徹底しました。これにより、小さな変動にも気づき調査・分析を行うことができました。

環境及び品質の継続的改善として、次の取り組みを行います。

- ・社内外のリスクマネジメントの意識をさらに強化し、影響の程度、頻度、潜在性を分析していきます。
- ・歩留向上及び不良損失金額低減のために、「ISO9001: 2015 7.4 コミュニケーション」に準拠し事前に不具合になる兆候を検知・共有するとともに資源の有効活用に取り組みます。
- ・引き続き、酸・アルカリ廃液等の移送に関し、立会い及び教育訓練を実施していきます。
- ・RoHS、REACH等、製品含有化学物質管理を強化し、顧客要求に応えていきます。

引き続き、地域社会との協調として、近隣住民参加型のイベント、鶴見川清掃活動を実施します。また設備等においてグリーン購入に力を入れていきます。

代表取締役 今井 俊夫



環境にやさしいプリント配線板作りとともに世界の人々に幸せを・・・そう願いながら伸光写真サービスは今日も環境活動を続けています。

人間活動と環境との持続可能な関係を修復・再生できますように！